



取組

生徒のデジタルリテラシーの向上

eラーニング及び随時伴走の支援で・・・

- ・「情報Ⅱ等」の基礎となるデジタルリテラシーの習得
(個々の習熟スピードに対応)
- ・正しい情報を正しく使う方法の取得 (個々を守る)
- ・習得の状況によりサポート内容を変化 (個別最適化)
- ・リテラシー向上による学習意欲の向上 (主体的な学びの提供)
- ・得意な生徒には高度な内容を提供 (意欲を損なわない)

環境の整備

- ・探究活動や外部連携に活用できるITルールの整備 (MTG等で活用)
- ・部活動の遠隔支援のシステム化
- ・DX部(仮・現PC部)へ高度な支援構築



教職員のデジタルリテラシーの向上

- ・「情報Ⅰ」の内容の修得 (指導者としての能力)
- ・ITリテラシーアセスメント実施 (ICT活用能力の向上)
- ・生徒を伴走できるデジタルリテラシー向上のため、
チームでプロジェクトを設定
(例：DXによる家庭学習の量と質向上)
(協同活動によるチーム力の向上)

中山間地域の弱点の解消

- ・より専門的な理系分野の講義



・大学や地域・他校との接続

育成する生徒像、教師像 → 期待される効果

- ・正しいデジタルリテラシーを習得し、より高度な内容へ挑戦しようとする生徒 → 学校全体の推進力となる
- ・生徒へ伴走できるスキルの習得と自発的な課題解決できる教職員集団 → 生徒への伴走支援力の向上とチームワークの構築
- さらに・・・部活動等でより専門的な指導を遠隔で受けることによりDX効果の見える化・モチベーションの向上につながる